

高山赤十字病院 広報誌

日赤たいむ

Vol.41

平成28年
新春号

謹
賀
新
年



- 新年のご挨拶 ●デンバー市長・市議会議員来院
- 大規模災害訓練を終えて ●追悼コンサート
- 産婦人科からのごあんない ●県知事からの感謝状
- 新任医師の紹介 ●栄養課おすすめ! 簡単レシピ



新年のご挨拶

病院長
棚橋忍
高山赤十字病院



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

昨年は11月にフランス・パリで同時多発テロが起き、全世界に衝撃が走りました。国際観光都市高山ではそのような事件が起きないようにと祈っています。

医療において本年は診療報酬改定の年に当たります。団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる2025年に向け

ていろいろな政策が打ち出されています。そのポイントは病院の①機能分化、②地域連携、③在宅医療と考えています。少子高齢化が進めば、医療のニーズが変わってくるのは当然ですが、それに対して医療機関がどのように変わっていかなければなりません。また、患者さんの受療行動にも大きな影響があると思います。

当院は、昨年10月より2病棟4階に地域包括ケア病棟を設置致しました。これは今後さらに増える高齢者のために、急性期を過ぎた高齢者になった患者さんが家に帰る間、医療を受けながら在宅復帰への準備をする病棟です。高齢者の患者さんは治癒できない病気を複数持つことが一般的であり、急性期疾

患が回復しても他の病気があるため、すぐに退院することが難しく、在宅復帰へ向けて経過観察やリハビリ・在宅復帰支援など、調整する期間が必要となります。この病棟の設置により、急性期病棟から地域包括ケア病棟へ移り、退院までの時間をゆっくり過ごしていただくことができます。今後は、この病棟を有効に使っていただきたいと考えています。

また、当院は今年で赤十字病院として94年目を迎え、あと6年で100年目になります。今までと同様に飛騨地域の医療の最後の砦(Last Hope!)として頑張って参ります。地域の皆様方のご支援をお願い申し上げます。



しており、当院からは今までに9名の研修医が参加しています。

懇談では当院の外国人患者さんへの診療サポート体制や外国人医師の受け入れ事業等を紹介し、棚橋院長が更なる交流の継続と発展を呼び掛けました。

ハンコック市長は「高度な医療を提供することはとても重要。高山でも最新の医療が受けられるように医師の相互派遣に事業を広げていきたい。」と話していました。



デンバー市長・市議会議員来院

平成27年11月12日、アメリカ・コロラド州デンバー市のハンコック市長と市議会議員ら6人が来院され、高山市との医療交流について当院医師らと意見交換しました。

高山市とデンバー市は昭和35年に姉妹都市提携を結んで以来、交流を続

けています。平成25年からは高山市内の病院に勤務する研修医をコロラド大学へ2週間派遣する医療分野での交流も実施しています。これは両市の医療関係者同士のネットワークの構築、そして外国の医療現場を体験することによる新たな知識の習得を目的と

大規模災害訓練を終えて



平成27年9月、宮城・仙台などに記録的大雨が降ったほか、全国で地震や噴火など多くの災害が起きました。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われますが、最近は忘れる前にやってきます。そのため赤十字職員である限り災害救護活動は常に考えておかなければなりません。



そこで10月2日(金)、当院において大規模災害訓練を行いました。参加者は当院職員334名、他施設やボランティア、見学者を含めて計400名と多くの方々が参加しました。

今年度も昨年度と同様に日中と夜間の2部構成で行われましたが、昨年度までと大きく異なったのは第2部(夜間)の各訓練エリアを大幅に変更した点です。変更があったのは5エリア(災害対策本部・トリアージ・赤・黄・緑)ですが、特に重症患者を受け入れる赤エリアは、救急外来処置室の付近で、二次トリアージ、初期治療、また

手術室や救命センターへの入室、検査への動線確認等、実災害を想定してより具体的なイメージを持った訓練を行う事が出来ました。



来年度は、さらに実災害を想定した訓練を計画しておりますが、想定外の事態を「想定内」にするため、よりリアルな災害訓練を行い、あらゆる事態に対応できる体制にしておかなければなりません。いつ実災害が起きても対処が出来る病院であるために。



追悼コンサート



平成27年11月4日、第37回解剖献体者追悼式がご遺族や来賓を招いて、しめやかに行われました。今回、追

悼式の後半には「追悼コンサート」と題して、総勢14名のフルート愛好者で結成されている「ミュージック・ブック」の皆さんによるフルート演奏が行われました。今回演奏されたのは「ふるさと・千の風

になって・花咲く・秋・虫の声・いのちの歌(竹内まりや)」の6曲で、ピッコロからアルト、バスフルートまで加えら

れたアンサンブルは快いハーモニーを奏で、出席者の心を魅了しました。

「ミュージック・ブック」の皆さんは当院の音楽ボランティアでもご活躍いただきしており、毎月1回総合受付ホールにてフルート演奏をされています。毎回、柔らかく明るく澄んだ音色に患者さんも当院職員も足を止め聞き入っています。

産婦人科からのご案内

これからも守ります！安全・安心な出産を！

当院は、飛騨地域の安全安心な出産を支える要『地域周産期母子医療センター』に指定されています。今後も、新任の産婦人科部長を中心に、引き続き重要な役割を果たしていきます。



当院は総合病院としてのメリットを活かし、お母さんが安心して出産できるよう、すべてのお産に産婦人科医と経験豊富な助産師が立会い、小児科医が24時間サポートできる体制を整えています。出産後に、母乳で育てるための支援にも力を入れています。そのため、入院中の授乳指導・退院後の母乳

外来も充実させています。

当院を利用した多くのお母様方から「ここで産んでよかったです」と喜びの声を頂いており、その声を励みに、今後もスタッフ一丸となって取り組んでまいります。



里帰り出産も引き続き行っています。お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先：当院 産婦人科（内線3230）

県知事からの感謝状

平成27年9月25日に開催された岐阜県火山防災フォーラムにおいて、当院の災害派遣医療チーム(DMAT※)が御嶽山噴火災害の救助活動に対して知事より感謝状をいただきました。

当院DMATは、噴火があった9月27日から活動し、登山口と8合目(標高2,450m)の2箇所に診療スペースを設置して救助活動を実施しました。

※医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や他傷病者が発生した事故などの現場に発災後おおむね48時間以内に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チーム。





新任医師の紹介



産婦人科部長 桑原 和男 (くわばら かずお)

10月から高山赤十字病院産婦人科に勤務しています。飛騨地域での勤務は数年ぶりですが、こちらでお世話になるのは初めてです。まだ、右も左も分からぬままに仕事をしていますが、今までに培った経験を活かしつつ、地域に即した医療を行うよう努力していきます。試行錯誤しながらのスタートとなりますので、温かい目で見守って頂けると幸いです。宜しくお願ひします。



消化器科副部長 佐藤 寛之 (さとう ひろゆき)

10月より高山赤十字病院に内科医として赴任いたしました。消化器疾患、肝臓疾患を中心に診療に携わります。外来診療、入院での診療の他に、胃カメラなどの内視鏡検査や、がんに対する治療を行うことで、皆様の日々の健康維持のお手伝いができればと考えております。また、皆様のおからだについての疑問にもお答えできるように努力しますので、お気軽にお声をお掛けください。宜しくお願ひいたします。



脳神経外科 庄田 健二 (しょうだ けんじ)

10月から高山赤十字病院に赴任しました脳神経外科の庄田健二です。私は高山出身で、高校卒業以来約10年ぶりの故郷での生活となります。高山の景色・寒さを懐かしく感じています。また、多くの方々が声をかけてくださり、大変嬉しく思っております。まだまだ若輩者の私ではございますが、飛騨地域の医療に貢献できるように尽力していきます。これからどうぞよろしくお願ひします。



産婦人科 小池 大我 (こいけ たいが)

11月より高山赤十字病院に赴任する事となりました産婦人科の小池大我と申します。生まれは大阪府堺市、千利休屋敷跡からほど近い場所で10代終わりまで過ごしました。大学からは岐阜市に移り住み今年で10年になりますが、高山市にやってきたのは今回が初めてです。地域の中核病院という新しい環境で心機一転、少しでも多くの患者さんのお力になれるよう、尽力させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

栄養課おすすめ! 簡単レシピ

ニンジンポタージュ (1人分124kcal)

作り方

- ①ニンジン、玉ねぎは薄切りにする。ベーコンは細切りにする。
- ②鍋にオリーブ油を熱して1を炒め、玉ねぎがしんなりしたら白ワインを回し入れ、Aを加える。煮たたら弱火にしてふたをし、ニンジンがやわらかくなるまで15分煮る。
- ③②を冷まし、ローリエを除いてミキサーに移し、なめらかになるまで攪拌する。
- ④③を鍋に戻し、牛乳を加えてあたため、塩、こしょう味をととのえる。器に注ぎ、パセリを添える。冷やしてもおいしい。

材料(2人分)

- | | |
|--------------------|--------------|
| ●ニンジン ……小1/2本(75g) | ●牛乳 ……1/2カップ |
| ●玉ねぎ ……1/3個(50g) | ●塩 ……少々 |
| ●ベーコン ……1枚(15g) | ●こしょう ……少々 |
| ●オリーブ油 ……大さじ1/2 | ●パセリ ……少々 |
| ●白ワイン ……大さじ1 | |
| A ●湯 ……1カップ | |
| ●固形スープ(チキン) 1/4個 | |
| ●ローリエ ……1/2枚 | |



外来初診担当医一覧表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください(平成28年1月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科	1 診	佐藤 寛之	柴田 敏朗	福野 賢二	棚橋 忍 野々村 健太	鷺見 聰子
	2 診	山内 明日香 今泉 俊則	今井 瑞	今泉 俊則 山内 明日香	白子 順子	高橋 佳大
	3 診	川上 剛	細江 敦典	浮田 雅人	山口 公大	西尾 優
循環器内科	畠佐 匡紀	休 診	堀部 永俊	休 診	坪内俊之/馬場慎也	
小児科	山岸 篤至	臼井 新治	新井 隆広	山岸 篤至	川尻 美和	
産婦人科	坂堂 未央子	高橋 麗奈	坂堂 未央子	小池 大我	桑原 和男	
外科	井川 愛子	休診(手術日)	佐野 文	白子/佐野/井川	白子 隆志	
整形外科	前田 雅人	岩田 崇裕	休診(手術日)	喜久生 健太	後藤 篤史	
脳神経外科	加藤 雅康	休診(手術日)	野中 裕康	竹中 勝信	庄田 健二	
泌尿器科	小島 圭太郎	柚原 一哉	飯沼 光司	休診(手術日)	小島 圭太郎 飯沼 光司	
耳鼻咽喉科	安藤 健一 高畠 隆 村上 一晃	安藤 健一 高畠 隆 村上 一晃	安藤 健一 高畠 隆 村上 一晃	休診(手術日)	安藤 健一 高畠 隆 村上 一晃	
眼科	高井 祐輔 桑山 創一郎	高井 祐輔 桑山 創一郎	前田 美保子	高井 祐輔 桑山 創一郎	高井 祐輔 桑山 創一郎	
皮膚科	市橋 直樹	市橋 直樹	市橋 直樹	市橋 直樹	市橋 直樹	
心療内科(予約制)	休 診	予約再診	予約再診	予約再診	予約再診	
歯科口腔外科	今井 努	大久保 恒正 (手術日)	大久保 恒正 (手術日)	今井 努	休診(手術日)	
放射線科	休 診	休 診	休 診	休 診	予 約	

※再診は予約制ですので、ご了承ください

外来のご案内

診療受付時間 午前8:00から午前11:00まで

診療開始時間 午前9:00

休診日 土曜、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、
日本赤十字社創立記念日(5月1日)

※ ただし、救急の場合は24時間対応しております。

初診の方 診察申込票に必要事項をご記入の上保険証、紹介状等を添えて新患者受付へお出し下さい。

予約の方 予約票の時間にしたがって直接受診科へおこし下さい。

●電話予約センター **0120-214-489** 受付時間:午前8:00から午後4:00まで

※ただし初診の電話予約には紹介状が必要です。紹介状のない方は、当日受付窓口へお越し下さい。

受診の際は必ず保険証のご提示をお願いします。

「わらび会」入会のご案内

高山赤十字病院は、昭和60年12月に糖尿病患者さんの患者会「わらび会」を発足しました。

患者さんの糖尿病の治療・予防に対する知識の普及と、福祉の増進・相互の親睦を図ることを目的に活動しています。

●活動:患者会総会、小旅行、語る会、親睦会、調理講習会、講演会
(活動時は当院の医師、看護師、栄養士が参加します。)

●会費:年間3,000円(糖尿病情報誌「さかえ」購読料含む)

なお、会員は当院通院中の患者さんに限られており、入会の申し込みや詳しく聞いてみたいと思われる方は、健康相談室のスタッフにお問い合わせ下さい。

